

地域医療連携室だより

平成16年6月

第 3 号

梅雨の晴れ間の日差しがまばゆく美しい季節ですが、皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。新病院への移転を控え、患者様本位の医療体制に向けて、病院各部門が業務改善への努力を重ねております。総合外来も軌道に乗り、救急医療体制への取り組み・在宅医療センターの整備も始まっております。



看護部も4月に40名の新人を迎え、「患者様の人権を尊重し、優しさと思いやりのある心で質の高い看護を提供します。」の理念のもと、その役割を十分果たしていけるよう努力していく所存でございます。

われわれの病院の地域の中での役割を自覚し、患者様・地域の先生方のご要望に沿うことができるよう努力してまいります。なにとぞご指導、ご鞭撻よろしくお願い申し上げます。

(看護部長 大野)

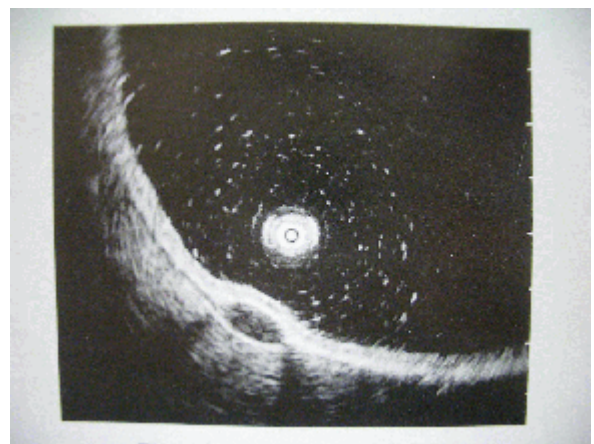
トピックス I

超音波内視鏡検査やっています

- 胃の検査で胃粘膜下腫瘍と診断されました。この病変はこのまま経過観察でよいのでしょうか。
- 胃カメラで早期胃癌と診断されました。この病変は果たして手術しなければならないのでしょうか。EMR(内視鏡的粘膜切除術)で治療できるものなのでしょうか。
- EIS(硬化療法)やEVL(結紮術)にて内視鏡的に一度治療された食道動脈瘤が、再び悪化してきました。果たしてその内部に血流が豊富に再開通しているのでしょうか。再治療が必要なのでしょうか。
- 食道癌の広がり診断はどうしたらいいのでしょうか。

これらの疑問を解決する検査法として、当院では超音波内視鏡(細径プローブ)の検査を行っています。粘膜表面の観察や、生検検査だけでは得られない裏側の情報が観察可能です。粘膜内および粘膜下の病変の広がりや浸潤度、血流の有無や粘膜下病変の性状が診断可能です。患者さんにとっては原則として通常内視鏡検査と変わりありませんが、検査中に食道や胃内に空気の代わりに脱気水を入れて観察しますので、少し検査時間が長くなります。

(消化器内科部長 谷村)



胃体中部大弯の粘膜下腫瘍

投薬・点滴、病状により治療は様々。しかし、栄養が不十分ではいくら治療しても効果は半減してしまいます。

当院では患者様の栄養を守るため、栄養サポートチームを始動させました。

医師・看護師・管理栄養士・言語聴覚士・歯科衛生士・薬剤師・検査技師の院内各部署の専門職が集まり、毎週回診とカンファレンスをおこない、入院患者様の栄養状態を検討しています。そして栄養管理をチーム医療として確立し、効率がよく、より質の高い医療の提供を目指しています。

また、外来患者様であっても相談・依頼があれば栄養サポートチームが関わり、患者様個人に合わせた栄養についての情報提供をおこなっています。



<専門外来の紹介> ~Part.2~ 「ペインクリニック外来」

◎ 対象症状

- ・帯状疱疹神経痛、帯状疱疹後神経痛
- ・顔面神経麻痺
- ・突発性難聴
- ・肩、頸部痛(肩こり)
- ・腰痛症
- ・癌性疼痛
- ・肋間神経痛
- 他、慢性痛等

◎ 診療内容

- ・星状神経節ブロック、硬膜外ブロック
(頸部、胸部、腰部)など各種
- ・トリガーポイント注射など

◎ 診察日

月～土

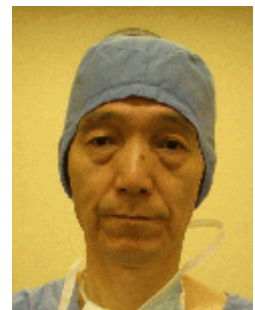
(手術の都合により診察できない場合があります)

◎ 予約

必ずしも必要ではありませんが、予約されたほうが待ち時間が少なく診察がスムーズです。



久富麻酔部長



鄭 医師

関係各科の医師と協力して疼痛の改善に努めております。

帯状疱疹神経痛は初期治療が望ましく、2～3月後の帯状疱疹後神経痛は有効な対処療法がありません。入院加療で持続硬麻などが有効です。

<お知らせ>

☆ 早朝外来診療を始めました

6月より平日(月～金)の朝7時半から8時半で早朝診療を行っています。(受付は8時まで)

診療科は内科・外科・整形外科・婦人科・泌尿器科で、対象は投薬(継続中のもの)、注射(継続中のもの)、感冒などの軽度の症状の方です。お勤めの方で、通常の診療時間の通院が困難な場合など、有効にご利用いただけるかと思えます。

担当は必ずしも専門医ではありませんので、専門科での診療が必要な場合は通常9時から(受付8時から)の各科外来を受診してください。

<担当医表>

曜日	月	火	水	木	金
担当医	久富	菊池	宮本	久富	大井 宮本 久富(交代制)

☆ ナースキャップ廃止しました

ナースキャップは看護師のシンボリックアイテムでもあります。近年は「感染防止」、「機能的な動作の妨げ」などを考慮し廃止傾向にありました。当院もより清潔でより機能的な病院づくりを目指すため、6月よりナースキャップを廃止することにいたしました。

☆ 医療コーディネーター業務拡充

6月より新畑(前看護部長)が医療コーディネーターとして着任しました。

今までの検査予約、案内業務に加え、受診科の案内、相談等、より一層の患者サービスの充実を図りたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

☆ 診療費の支払いについて・・・

病院の診療費は通常の買い物とは異なりあらかじめ金額がわかるものではありません。

診療内容、検査項目によっては思いのほか金額が多い、入院費用の支払いで多額の現金を支払日まで持っておくのは不安・・・と言う方も多いためです。

当院では「クレジットカード」「デビットカード」で診療費の支払いをご利用いただけます。ご希望の方は会計時にお申し出ください。